

「山の日記念」木製アコーディオンラック作り

8月2日(水)、和歌山森林管理署において、和歌山県西牟婁振興局林務課及びOF会(国有林退職者の会)の協力により夏休み木工教室を開催しました。

当日は真夏の暑い中、近隣小学校の5～6年生20名が参加しました。この木工教室は子どもたちに夏休みの思い出や宿題を兼ね、木に親しんでもらう目的で開催しており、4年ぶり37回目の開催となりました。

今年は「木製アコーディオンラック作り」に挑戦し、スタッフのサポートを受けながら墨入れをして、ノコギリで板を切り、キリで穴を開けて、金槌で釘を打って少しずつ組み立てていきました。

午後からの森林教室では、いろいろな木目をさがすピンゴゲームを行い、木材にはさまざまな木目があることを学びました。

子どもたちからは「ノコギリでまっすぐに切るのが難しかった」、「早く家で使いたい」、「ヤスリで木をツルツルに磨くのが楽しい」などの声が聞かれました。

和歌山森林管理署では地域の子どもたちに木のことを知る機会を提供し、少しでも森林・林業に関心を持ってもらうために、今後もこのようなイベントを継続していきたいと思えます。



頑張ってノコギリでまっすぐに切ります。



完成品を持ってニコニコ顔



制作したアコーディオンラック